

◇競技注意事項◇

1. 規 則 本大会は2020年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。
2. 競技者の事前準備について
本大会に参加する競技者は、次の準備をしておくこと。
 - ①体調管理チェックシート（各校で使用しているもの）
検温については、本大会1週間前から前日までの検温結果を必ず記入し、顧問に提出する。
大会当日は、「生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書」を顧問に提出する。
(確認書は大会以後30日間以上学校保管のこと)
 - ②大会参加承諾書（事前に配布したもの）
事前に保護者が記入し、事前に顧問へ提出すること。
 - ③当日はマスク、タオル、ごみ袋を持参すること。
3. 競技場の入退場について
 - ①本競技場の開門時間は7時30分に代表者が入場後、全体が入場とする。(7時以前には整列できない)
 - ②本競技場は全天候舗装である。
トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。
走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照されたい。
 - ③入場は競技者、競技役員、引率顧問、部活動指導員のみを原則とし、入場の際に手指の消毒を行う。
 - ④競技者は入場するまでに「健康管理チェックシート」、「生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書」を顧問に提出し、顧問は必要書類（参加状況報告書、出欠場届、リレーオーダー用紙等）を役員へ提出する。
 - ⑤怪我等によりリレーオーダー用紙提出後の変更がある場合は、競技開始時刻の1時間前までに記録室で訂正をすること。
 - ⑥大会後、「行動記録書」（事前に配布）を顧問に提出すること。
(「行動記録書」は自宅から帰宅するまでの動きを記入したものである)
4. ウォーミングアップについて
 - ①ウォーミングアップは補助競技場を使用し、個別に行うものとする。(競技者に限定する)
 - ②練習はすべての競技役員の指示に従い、他の選手との距離を十分に確保し、指定された場所や時間の範囲内で行うこと。
 - ③競技運営上、練習を制限することがある。練習中は事故防止に万全を期すること。
5. 欠場について
本大会に出場するしないに限らず、出欠場届を当日入場前に入口内にいる役員へ提出すること。
6. 招 集
 - ①通常の1次コールはせず、所定の時間までに集まり、所定の位置で、最終コールを行う。
その時に、スパイク（靴）、ビブス、腰ナンバー等も確認する。
尚、招集後はそのまま競技場所へ競技役員の指示で移動する。
 - ②事前に手洗いを済ませておくこと。マスクは必ず着用。
 - ③招集に遅れた者は、棄権とみなし出場を許さない。
 - ④トラック競技について
<招集場所>
 - A 100m、100mH、110mH、リレー4走・・・第2曲走路（100mスタート付近）
 - B 200m、3000m、リレー3走・・・バックストレート(200mスタート付近)
 - C 1500m、リレー2走・・・第1曲走路外（1500mスタート付近）
 - D 400m、800m、リレー1走・・・第1曲走路外（フィニッシュ前方）

<招集時間>

- A 集合完了・点呼開始 . . . 20 分前まで
- B 点呼・説明終了・誘導開始 . . . 20 分前から適宜

⑤フィールド競技について

<招集場所>

- A 走高跳 . . . ピット (第 1 曲走路内側)
- B 砲丸投 . . . ピット (第 2 曲走路内側)
- C 棒高跳 . . . ピット (バックストレート)
- D 走幅跳 . . . ピット (A スタート側砂場、B フィニッシュ側砂場)

<招集時間>

- A 走高跳・走幅跳・砲丸投 . . . 40 分前・集合完了
- B 棒高跳 . . . 90 分前・集合完了

7. 変更 競技者の変更は一切認めない。プログラム誤記の訂正は 8 時 30 分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届ける。

8. アスリートビブス

- ・ 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように 2 枚のアスリートビブスをつけなければならない。ただし、棒高跳、走高跳、走幅跳の競技者は、背または、胸につけるだけでもよい。
- ・ 白の B 5 版の大きさの布に、学校番号を男子黒、女子赤字で記入する。高さ 12 cm、幅 5 cm 以上、飾り文字は使用しない。
- ・ 800 m 以上は招集場所で腰ナンバーカードを渡されるので、右腰に結着する。
- ・ 腰ナンバーカードは返却しない。

9. トラック・トラック競技はタイムレース決勝で行う。

- ・ 電気計時：すべての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。同タイムの場合、写真を拡大し細部まで読みとり決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。
- ・ 手動計時：同タイムだった場合、着順を優先し、それでも決定できない場合は同着とする。
- ・ 1500m は 1 年男子が 6 分、女子は 6 分 30 秒でレースを打ち切る。
- ・ 3000m は 1 分 30 秒、800m はすべて 3 分 30 秒でレースを打ち切る。
- ・ 800m と 3000m については 2 段スタートで行う。
- ・ リレーのマークについては 1 カ所とし各学校で用意する。(学校ナンバーを明記)
- ・ 天候及び日没の関係で写真判定が困難な場合は、手動計時で行うこともあり得る。
- ・ ハードル競技の高さ、インターバル等は次のとおりとする。

	スタートから 1 台目まで	インターバル	最終ハードル からゴール	高さ
男子110mH	13.72m	9.14m	14.02m	0.914m
女子100mH	13.00m	8.00m	15.00m	0.762m

10. フィールド (1) 種目計測ライン及びバーのあげ方

		公式練習		競技開始						
		男子	女子	1m40	1m45ー	1m50ー	1m55ー	1m60ー	1m65	以上 3 cm
走高跳	男子	1m40	1m45ー	1m50ー	1m55ー	1m60ー	1m65	以上 3 cm		
	女子	1m15	1m20ー	1m40 まで	5cm 刻み		1m45	以上 3 cm		
棒高跳	共通	2m00 から 2m60 まで 20 cm とし、2m60 以上 10 cm、3m50 以上 5 cm								
走幅跳	男子	1 年		4m20		2 年		4m70		
	女子	1 年		3m60		2 年		4m00		
砲丸投	男子	7m50								
	女子	7m50								

(2) 棒高跳の公式練習について

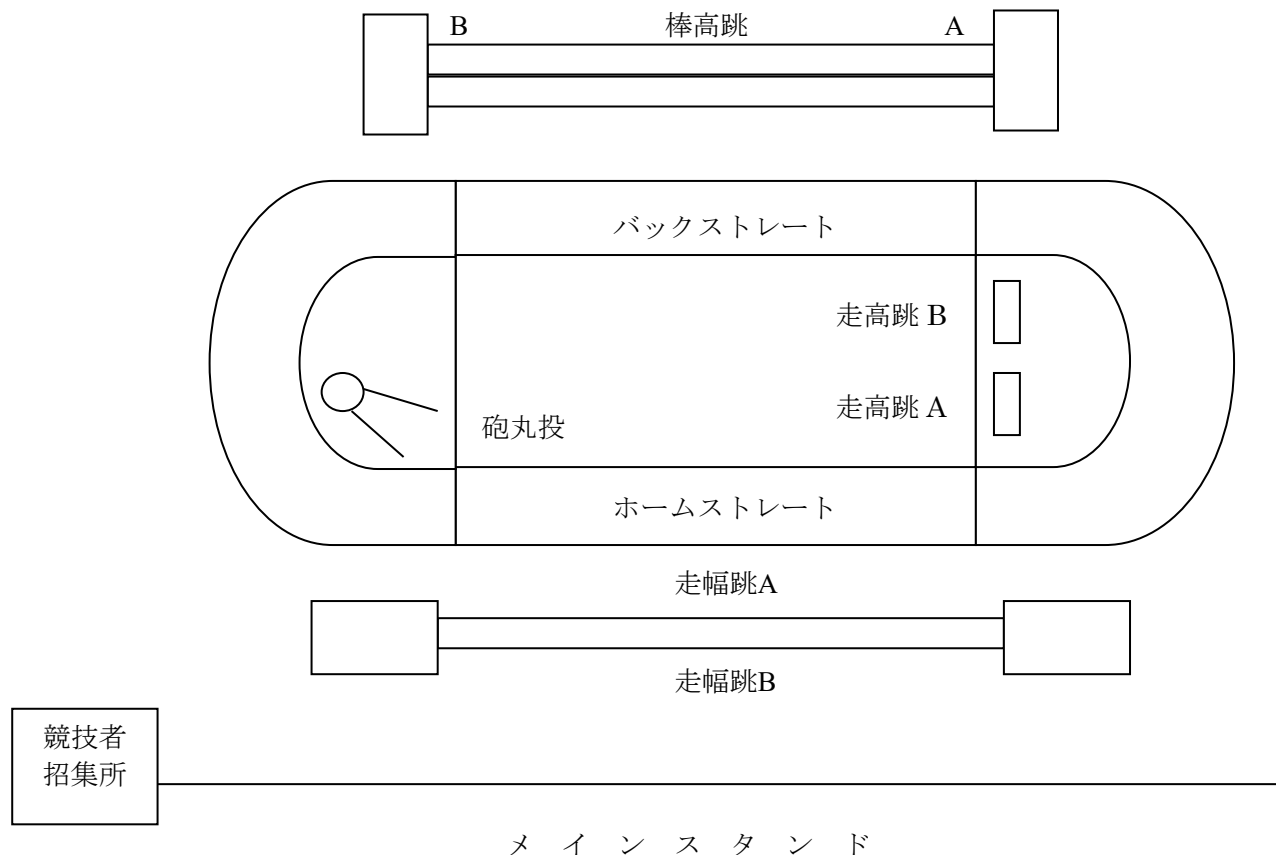
公式練習の高さは以下のとおりとする。
公式練習の高さ . . . ①2m00 ②2m50 ③3m00 ④3m50
練習回数は 2 回とし、順序は試技順に従う。

(3) 同記録の場合のバーの上下の高さは走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

(4) スパイクピンは走高跳は 12mm 以下、走高跳以外は 9mm 以下とする。

(5) フィールドの各ピット (A・B) は下図のとおりとする。

- 1 1. 開閉会式
- ・感染症対策のため、今年度は行わない。また、8位までに賞状を後日、顧問を通じて授与する。リレー・総合の優勝校にはカップを授与する。
 - ・最優秀選手については、今大会の優勝者から選考する。
- 1 2. 競技規則
- トラック
- ・全てタイムレース決勝とする。
- フィールド
- ・走幅跳・砲丸投は前半2回の試技でTop8を選出し、後半2回の試技を行う。走高跳・棒高跳は、連続する2回の失敗試技で、競技終了とする。
- 1 3. その他 (1) 競技場の利用のしかた
- ・競技者は指示された場所・通路を使用し、フィールド内や立入禁止区域には絶対に入らない。(通路や更衣室等に荷物を置かない)
 - ・開門前には競技場には入らない。整列して待つ。
 - ・スタンド下通路は、ゴールした選手と競技役員のみが通行できることとする。
- (2) 競技について
- ・トラック競技のスタート合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。スタート時にふらついたり、微動した場合には、警告扱いとしてイエローカードを提示する。同種目、同ラウンドで2枚のイエローカードを受けた場合は、該当種目のみ失格とし、他の種目は除外しない。また、次ラウンドに警告は持ち越さない。
 - ・競技終了後は必ず手洗いをすること。
- (3) 競技者の控え場所
- ・スタンドや芝生席を利用し、所持品は各自責任を持って管理する。
 - ・更衣室は更衣のみに使用する。
- (4) 決勝進出で抽選が必要な場合、アナウンスをよく聞き速やかに番組編成に集合する。
- (5) ゴミは各自持ちかえりとする。
- (6) 中学生競技者としてのマナーを守ること。(顧問打ち合わせ内容厳守)



1 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意について（今後の状況により変更の場合があります）

① 競技者及び来場者に関して

- 1) 本大会は無観客で開催する。
- 2) 来場者は原則として、競技者（付き添い生徒は各校1名まで）、競技役員、引率顧問、部活動指導員（職員証またはそれに代わるものを携帯する）に限定し、来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避けること。
- 3) 競技者（1名の付き添い生徒を含む）、競技役員、引率顧問、部活動指導員（職員証またはそれに代わるものを携帯する）の方は競技会開催1週間前から検温を実施し、体調管理チェックシート（各校で使用しているもの）に記入し、保管および必要書類を提出すること。（体調管理チェックシートがない場合の参加は認めない）
- 4) 体調不良の場合は来場を見合わせること。
（例. 37度以上の発熱は再検、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
- 5) 次の事項に該当する場合は来場及び競技に参加を認めない。
 - ・当日の体温が37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある場合。
 - ・同家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- 6) 大会終了後の2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。

② 来場及び競技の参加にあたって

- 1) 来場にあたっては、マスク、タオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。（ただし、熱中症予防のため、屋外では十分なソーシャルディスタンスと沈黙を保つことのできる状況下のみ外してもよいこととする）
- 2) 石けん等を用いた手洗い・手指消毒・洗顔を励行すること。
- 3) 声を出しての応援、集団での応援は行わないこと。
- 4) ウォーミングアップや招集等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- 5) 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- 6) 飲食等の際は、感染リスクが高くなるため、短時間・ソーシャルディスタンス・換気のよい場所で行う。
- 7) 飛沫感染を防ぐため、近距離での会話は避けること。
- 8) タオル、ペットボトル、コップ等は必ず各自で準備し、体液の付着したゴミのみならず、全てのゴミは各自が責任をもって持ち帰ること。